

2008年5月期決算概況

地球温暖化防止に、インテリアができること。



住江織物株式会社

SUMINOE

目次

- P. 1 .. 表紙
- P. 2 .. 目次
- P. 3 .. 2008年5月期業績
(連結業績・事業セグメント内訳・B/S C/F・業績の推移)
- P. 10 .. 2009年5月期計画
- P. 11 .. 中期経営計画「ACTION-2008」
- P. 13 .. 配当・資本政策および設備投資
- P. 14 .. 自動車内装材 海外展開について
- P. 17 .. トピック
住江の環境技術
環境にやさしい商品
- P. 24 .. 会社概要

2008年5月期 (07/6~08/5)業績

(単位:百万円) Profit and loss statement

【連結】	前期	当期	前期比 (増減額)	前期比 (%)	期初計画	計画比 (%)
売上高	76,670	80,869	4,199	105.5%	79,000	102.4%
営業利益	2,024	2,302	278	113.7%	2,300	100.1%
営業利益率	2.64%	2.85%			2.91%	
経常利益	2,002	2,288	286	114.3%	2,600	88.0%
経常利益率	2.61%	2.83%			3.29%	
当期純利益	2,720	982	△1,738	36.1%	1,500	65.5%
当期純利益率	3.55%	1.21%			1.90%	

【単独】	前期	当期	前期比 (増減額)	前期比 (%)	期初計画	計画比 (%)
売上高	53,720	55,580	1,860	103.5%	54,000	102.9%
営業利益	1,235	1,456	221	117.9%	1,250	116.5%
営業利益率	2.30%	2.62%			2.32%	
経常利益	1,855	1,892	37	102.0%	1,700	111.3%
経常利益率	3.45%	3.40%			3.15%	
当期純利益	3,058	1,090	△1,968	35.6%	1,000	109.0%
当期純利益率	5.69%	1.96%			1.85%	

連結売上高は

前期比42億円増の808億円

【連結売上高】

自動車内装関連は国内、海外ともに売上高が拡大、インテリア事業も堅調に推移したため42億円の増収となった。

連結営業利益は

前期比2.7億円増の23億円

【連結営業利益】

原材料値上げによるコストアップや大型設備投資による減価償却費用の増加、米国子会社の収益化の遅れなどがあつたが、国内自動車内装材の受注拡大や製造拠点の徹底した生産効率の向上などにより、前期比、期初計画比ともにクリア、23億円(前期比2.7億円増)となった。

【連結経常利益】

持分会社であるタイの自動車内装材製造拠点のマイナスやエアバッグ製造会社の収益化の遅れにより、持分法適用会社損失が3億1千万円発生したため、22.8億円(前期比2億8千万円増)となった。

【連結当期利益】

前期に実施した繰延税金資産計上の影響(前期の純利益増加要因)等で、当期は前期比17億円減の9.8億円となった。

連結業績の事業セグメント別内訳

(単位:百万円) Segment information

【売上高】	前期	当期	前期比 (増減額)	前期比 (%)
インテリア	37,585	37,864	279	100.7%
自動車・車両内装	34,082	38,097	4,015	111.8%
その他	5,001	4,907	△94	98.1%
合計	76,670	80,869	4,200	105.5%

【営業利益】	前期	当期	前期比 (増減額)	前期比 (%)
インテリア	1,052	1,047	△5	99.5%
自動車・車両内装	2,263	2,575	312	113.8%
その他	235	210	△25	89.4%
消去	△1,526	△1,530	△4	
合計	2,024	2,302	278	113.7%

インテリア事業分野

【インテリア事業】

前期比2.7億円増収、5百万円減益

2007年6月に施行された改正建築基準法により住宅着工件数が急減、年度後半からは市場の低迷が鮮明となり、収益面でも原油高による原材料の高騰が大きく影響するなど、非常に厳しい外部環境となった。そのようななか、従来のタイルカーペットよりCO2を19%削減したリサイクルタイルカーペット「SG-300」や、自社生産しているペットボトル再生ポリエステル長繊維「スミロン®」を使ったラグマットなどの環境にやさしい商品が、CO2削減の世界的な潮流のもと売上げを大きく伸ばし、インテリア事業全体では売上・利益ともに前期と同水準を確保した。



コア事業である
カーペットを中心に
カーテン、壁紙等を販売

連結売上高378億 6千4百万円

連結営業利益10億 4千7百万円

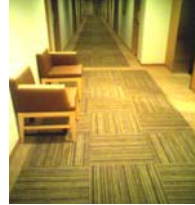
■当期営業実績

【別注カーペット】



ホテルグランヴィア岡山

【リサイクルカーペット SG-300】



ホテルルートイン

【空気を洗う壁紙®TF-V】



群馬県立がんセンター

【緞帳】



三原市芸術文化センター

自動車・車両内装事業分野

【自動車・車両内装事業】

前期比40億円増収、3億1千万増益

（自動車内装分野）

国内の自動車販売台数が前年を下回り、原材料高騰によるコスト高や低価格化の加速、開発・販売競争の激化など、厳しい状況ではあったが、創業以来のコア商材であるカーペットからシート表皮材、天井表皮材まで、自動車室内をトータルで提案できるインテリアファブリクスメーカーとしての強みを活かし、吸音カーペットや消臭機能を持ったシート表皮材など、付加価値の高い商品を積極的に展開、国内でのシェアを拡大し、売上・利益ともに好調に推移した。一方、海外では、米国STA社が収益化の遅れはあったものの、カーペット、シート表皮材ともに売上を大きく伸ばした。



フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで供給

（車両内装分野を合わせた連結業績）

連結売上高380億 9千7百万円

連結営業利益25億 7千5百万円

■当期営業実績



トヨタ アルファード



ホンダ フィット



日産 X-TRAIL



マツダ デミオ

自動車・車両内装事業分野／その他の事業分野

【自動車・車両内装事業】 （車両内装分野）

車両内装材分野では、バス向け売上が前期を下回ったものの、リサイクルシートクッションが環境にやさしい商品として売上が大きく伸び、当分野全体では売上・利益面ともに堅調に推移した。



鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材等を販売

■当期営業実績

【自動車・車両内装事業分野(車両)】



東海道新幹線 N-700系

小田急 ロマンスカーMSE



西武鉄道 スマイルトレイン

【その他の事業分野】



日本航空 B777-300ER

【その他事業】

前期比9千万円減収、2千万円減益

原材料高によるコスト上昇の影響があったものの、OEM事業やホットカーペット事業が堅調に推移したため、売上・利益ともに前期とほぼ同水準となった。

その他の事業分野連結業績

連結売上高49億7百万円

連結営業利益2億1千万円

連結B/S・連結C/F

Balance sheet

連結 B/S	前期	当期
総資産	77,176	79,935
現預金	6,746	8,960
売上債権	20,356	21,847
棚卸資産	8,913	10,302
その他の流動資産	3,593	4,049
固定資産	37,568	34,777
総負債	47,664	51,782
短期借入金および一年以内償還社債	10,617	9,069
長期借入金・社債	5,093	5,805
その他の負債	31,954	36,908
純資産	29,512	28,152
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	6,052	6,429
その他の純資産	10,933	9,204
少数株主持分	321	313

Statement of cash flows

(単位:百万円)

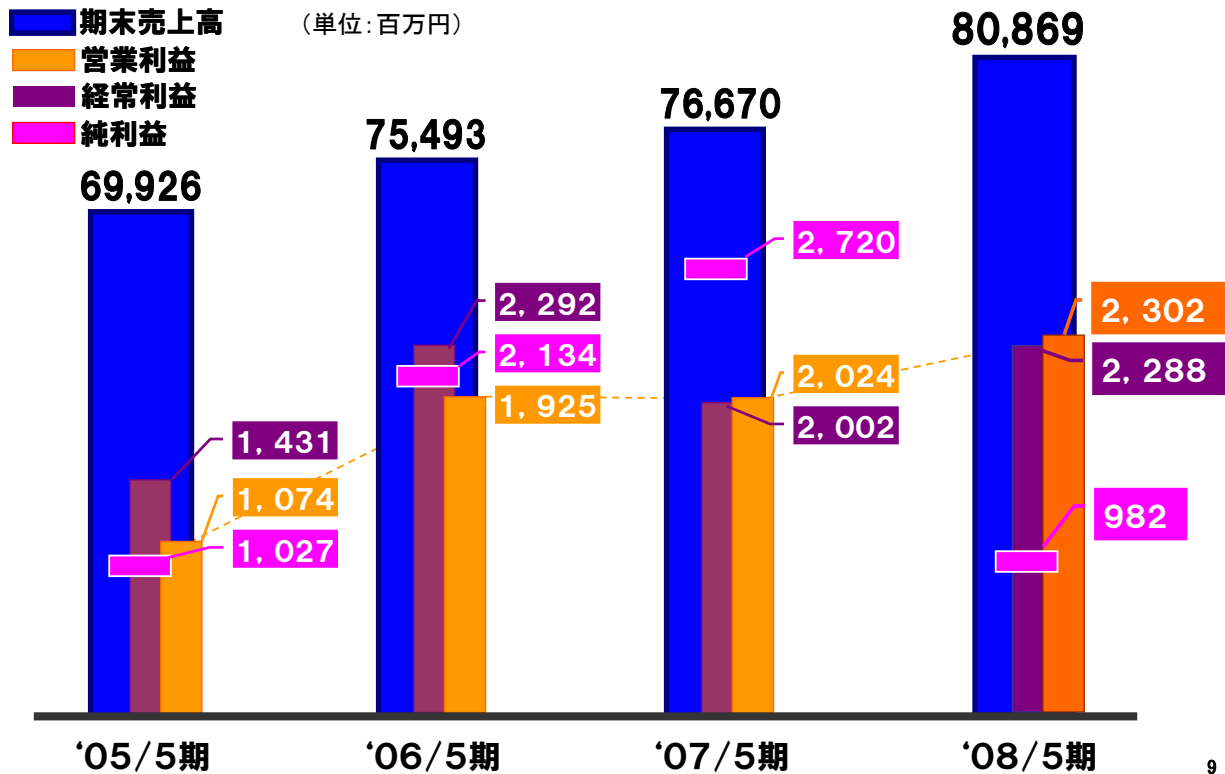
連結 C/F	前期	当期
営業活動によるC/F	1,232	4,715
投資活動によるC/F	△1,041	△1,105
財務活動によるC/F	△1,676	△1,322
換算レート変動の影響	47	△73
期中の増減額	△1,437	2,213
期首の現金残高	8,184	6,746
期末の現金残高	6,746	8,960

国内市場および米国で自動車内装材の売上増に伴い売上債権、棚卸資産がともに増加。

有利子負債を前期157億円から148億円へ圧縮。中期経営計画最終年度(09年5月期)の目標150億円を1年前倒してクリア

5月末が金融機関休日で決済が6月となったため、支払手形および買掛金が前期比47億円増となっている。

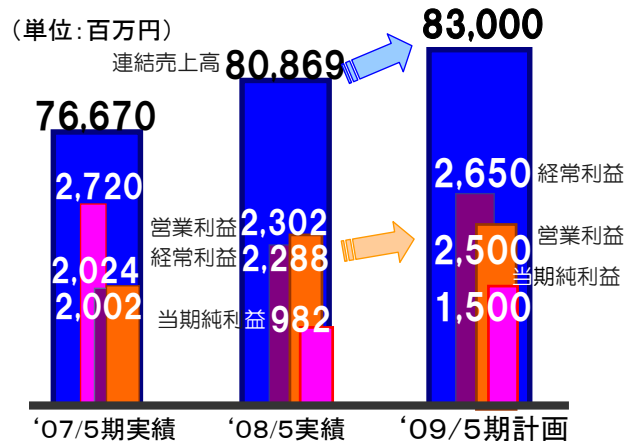
連結業績の推移



2009年5月期計画

09年5月期 期初計画

- 連結売上高 830億円
- // 営業利益 25億円
- // 経常利益 26.5億円
- // 当期純利益 15億円



連結売上高は前期比22億円増の830億円、営業利益25億円へ

【売上高】度重なる原油高の上昇と米国サブプライムローン問題に起因した世界経済の混乱など、めまぐるしく状況が変化するなかで景気後退が予測されるが、米国生産拠点をはじめとしたグローバル体制の強化や得意とする環境にやさしい商品の積極的な展開により、売上高は前期比22億円増(国内7億、海外15億)の830億円を目指す。

【営業利益】原材料値上げによるコストアップや、大型設備投資による減価償却費の増加等の利益圧迫要因が考えられるが、インテリア事業分野ではリサイクルタイルカーペットやトリプルフレッシュ®消臭壁紙などの環境にやさしい商品を中心としたブランド事業を積極的に展開、収益性を高める。自動車内装分野では米国子会社に人的支援を行い安定的な生産体制の構築を図ることで収支改善を推進し、営業利益は前期比2億円増の25億円を目指す。

中期経営計画 “ACTION-2008”

中期経営計画“ACTION-2008”は、「事業体質の強化」と「収益基盤の拡充」を基本方針とし、最終年度2009年5月期の連結売上高800億円を最終目標に2006年6月よりスタートしました。

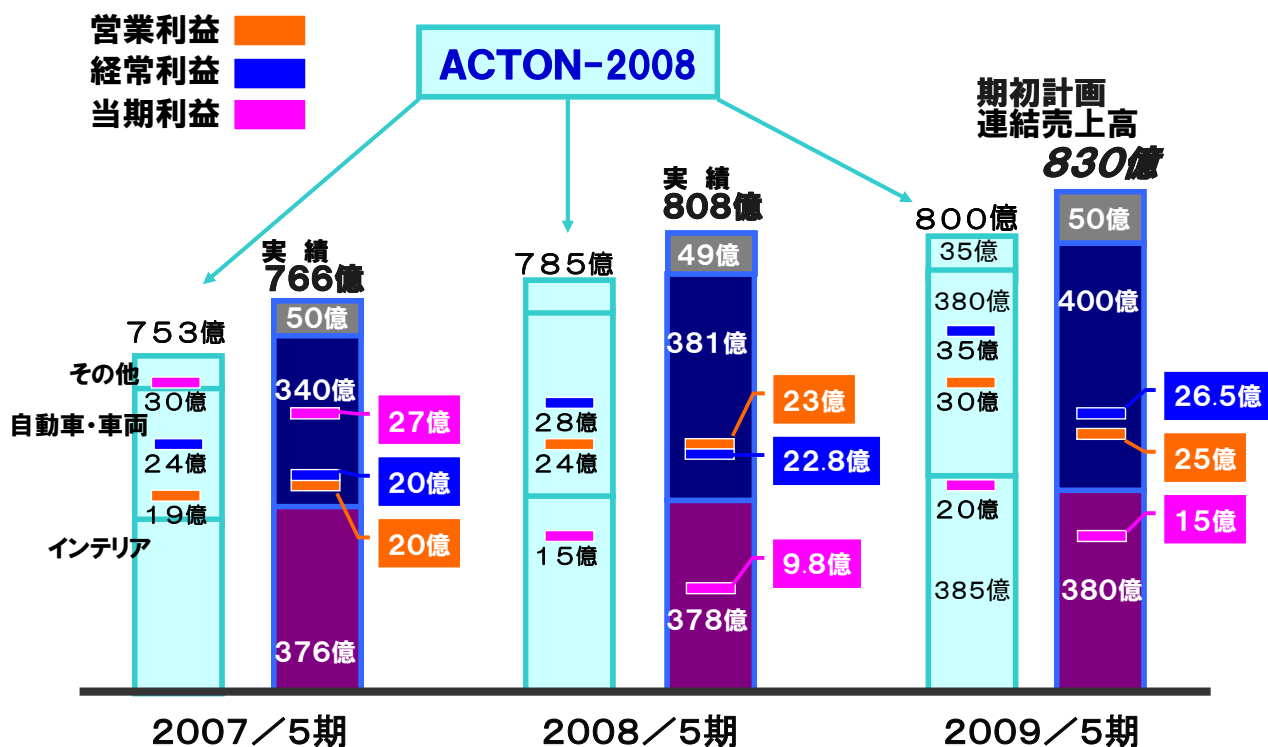
【主な目標】

- 連結売上高800億円
⇒08年5月期で売上高800億円達成
- 「インテリア内装資材」と「自動車・鉄道車両内装資材」の比率を50%：50%に
⇒08年5月期で達成
- 09年5月期までに営業利益率3.5%以上
⇒09年5月期で3%台へ
- 09年5月期までに売上高に占める海外売上高は10%以上
⇒09年5月期で10%へ
- 3年間で20億円の有利子負債圧縮
⇒08年5月期でクリア
- 自己資本比率38%
⇒09年5月期で38%へ

中期経営計画ACTION-2008 数値目標

	07/5月	08/5月	09/5月
売上高	753億	785億	800億
営業利益	19億	24億	30億
経常利益	24億	28億	35億
当期利益	30億	15億	20億
売上高営業利益率	2.5%	3.0%	3.7%
自己資本当期純利益率	11.6%	5.4%	6.8%
総資産経常利益絵率	3.2%	3.6%	4.4%

中期経営計画 “ACTION-2008”



配当・資本政策および設備投資

■配当および資本政策について

○株主配当

○8年5月期は、1株につき2円50銭の中間配当を実施、期末配当についても2円50銭（年間5円）を予定しています。

○9年5月期についても、1株につき年間5円の配当を予定しております。

○自己株式の取得

○8年5月期は、1,000,000株（取得総額269,464,000円）の自己株式の市場買付を行いました。

■設備投資について

【08年5月期実施総額・12億円】

○鉄道車両用ポリエステルシートクッション製造ライン	85百万円
○奈良工場 カーペット製造設備	100百万円
○IT環境整備に向けた情報投資	120百万円
○米国STA 自動車内装材製造設備拡充	280百万円
○中国SPM	85百万円

【09年5月期計画総額・12億円】

○米国STA 自動車内装材製造設備拡充	100百万円
○中国SPM	170百万円
○IT環境整備に向けた情報投資	260百万円

主な設備投資案件

13

自動車内装材分野の海外展開について

北米の重要拠点であるSTAでは、カーペット製造設備ならびに受注が拡大しているシート表皮材の製造設備の拡充を図りました。

中国の生産拠点であるSPMもシート表皮材の生産設備を段階的に導入し、中国における日系自動車メーカーへの内装材供給拠点として体制強化を図っております。

■受注急拡大を受け、STA、SPMともに資本強化

好調な受注状況により事業が急拡大しており、資金需要と追加設備投資が発生したため、最重要拠点である北米STAに増資による資本強化を図り、中国SPMについても実施を予定しております。

○北米STA 10,000,000ドルの増資を実施し、30,000,000ドル(32億円)。

○中国SPM 2,500,000ドル増資を予定し、7,500,000ドル(8億円)へ

(住江の出資比率は59%、中国/パシフィック社33%、丸紅8%)

■米国ロサンゼルスにデザイン事務所開設

米国における自動車メーカーデザイン部門との連携を密にし、開発業務の迅速化と効率化を図り、STAの事業拡大を促進するため、カリフォルニア州ニューポートビーチにデザイン事務所を開設いたしました。



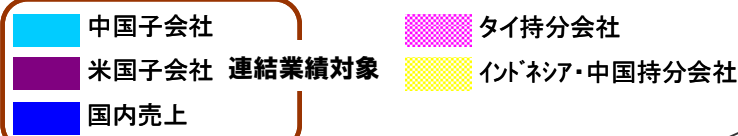
■インド市場開拓に向け、現地企業と業務提携

拡大するインド自動車市場において、インドALPS社と業務提携いたしました。今後、インドでの自動車内装材の製造に関する技術協力を開始、インド市場での販路開拓を進めてまいります。

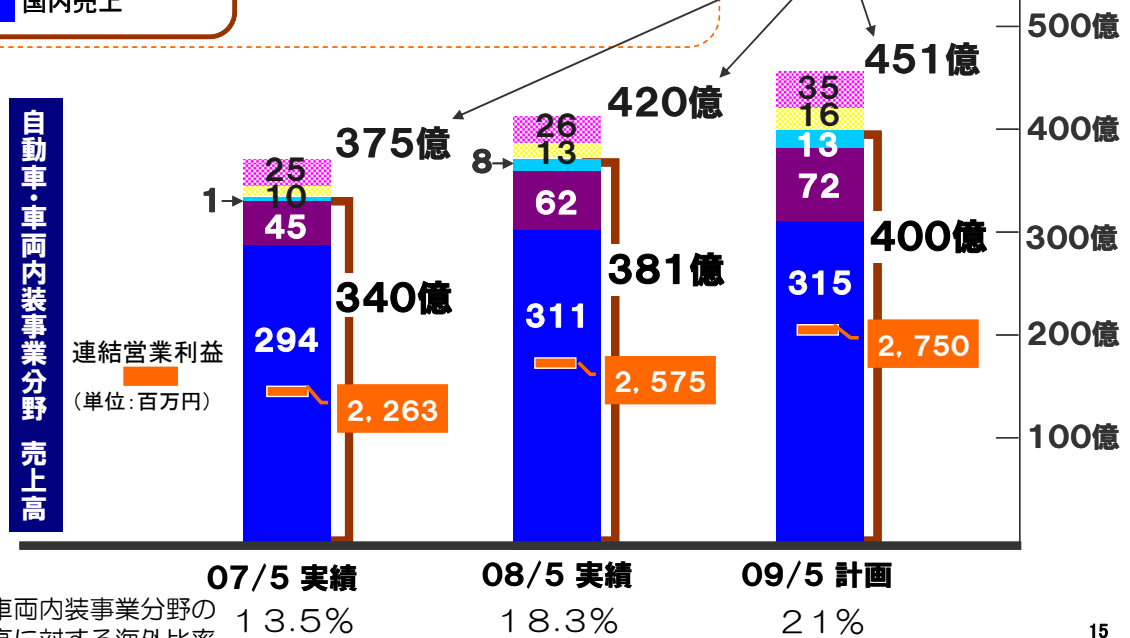
14

自動車・車両内装事業分野の地域別展開

持分関連会社を含めた事業領域



※持分法適用会社を含めた自動車・車両内装資材事業の売上高



グローバルに展開する供給体制

北米STA、中国SPMをはじめ、世界各地にグループ会社や提携企業によるグローバル生産供給体制を構築しております。今後も積極的に強化していく予定です。



連結子会社

持分法適用関連会社

スミノエ環境対策宣言

【基本理念】

人と地球の健やかな共存のために、スミノエは、皆さまと共に安全で快適な環境づくりに取り組みます。

1998年、当社は環境保護をテーマとした「スミノエ環境対策宣言」を発信しました。

以後、業界にさきがけ環境にやさしい商品づくりに積極的に取り組んでまいりました。

現在の世界的なCO2削減の流れのなか、当社の環境にやさしい製品がその機能性の高さから大変高い評価をいただき、需要が拡大しております。

環境対策宣言

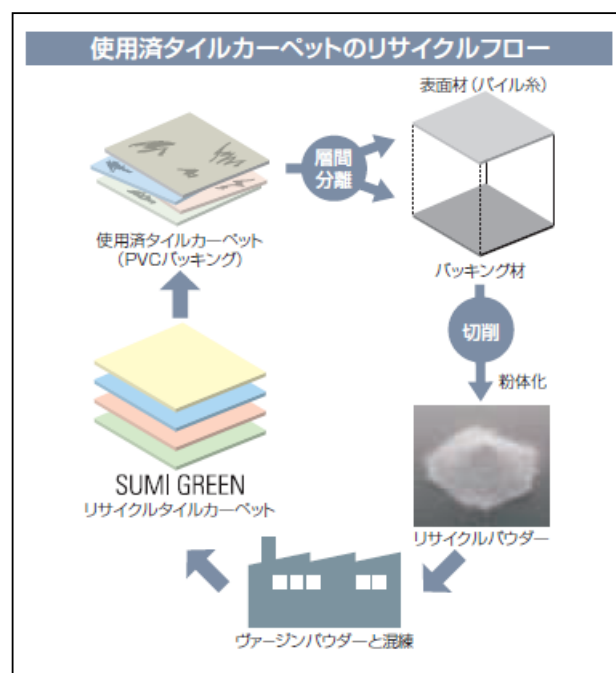
- 1 オレフィン素材の採用
- 2 リサイクル材の採用
- 3 天然素材
- 4 容器包装の省ゴミ
- 5 環境負荷軽減
- 6 室内環境規格の設定
- 7 室内環境改善インテリアの開発

住江の環境技術（生産段階）

○カーペットリサイクルシステム

回収した使用済みタイルカーペットのバックング材からリサイクルパウダーを製造、ピュアパウダーに混ぜることによって、新たにタイルカーペットとして生まれ変わります。

**従来のナイロン
タイルカーペットより
CO2を
19%削減！**



住江の環境技術（生産段階）

○ポリエステル製リサイクル繊維“スミロン®”

使用済みペットボトルから再生したリサイクルチップとピュアチップを原料とした再生繊維「スミロン®」を自社製造しています。

カーペット、ラグマット、カーテンなどのインテリア製品だけでなく、ダストコントロールマットといった清掃用品にも用途を拡大しています。



製品へ



ペットボトルフレーク



紡糸

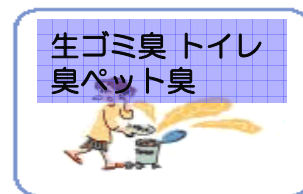


カーペット原糸

住江の環境技術（使用段階）

○“トリプルフレッシュ®”消臭加工技術

住江織物が開発した消臭技術「トリプルフレッシュ®」は、シックハウス症候群の原因であるホルムアルデヒドを化学的に吸着し、安全な物質に分解。タバコ臭や生ゴミなどの生活臭も同時に消臭(吸着・分解)します。



世界で初めてシックハウスに対応したインテリア商品
トリプルフレッシュ消臭加工を施した
カーペットは電気いらずの空気清浄機！

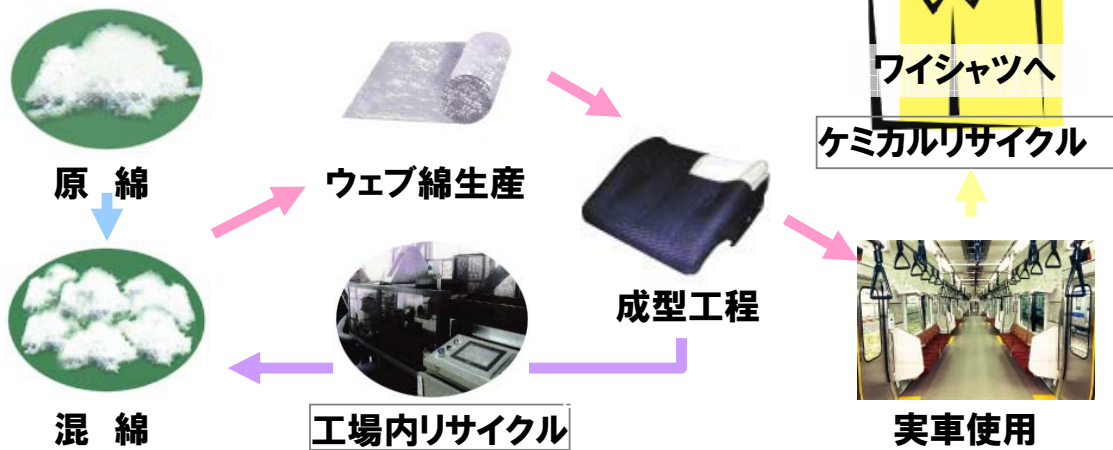
住江の環境技術（廃棄段階）

○ 鉄道車両用シートクッション材のリサイクル

住江織物のポリエステル製シートクッション材は、回収後、ケミカルリサイクルにより、ワイシャツなどに使われるリサイクル繊維に生まれ変わります。



新幹線N-700系にも採用



環境にやさしい商品

○ インテリア分野



ペットボトルリサイクル繊維



トリプルフレッシュ®消臭加工インテリア商品



リサイクルタイルカーペット



エコマークカーテン

環境にやさしい商品

○自動車・車両内装材分野



シート表皮

硬綿

リサイクル性に優れたシートクッション



トリプルフレッシュ®消臭加工

シート表皮材・天井表皮材



軽量・吸音カーペット



EK-WAGON MITSUBISHI

エコテックス規格100認証 内装材

会社概要

正式社名 住江織物株式会社 (Suminoe Textile Co., Ltd.)

本社住所 大阪府中央区南船場3-11-20

設立年月日 1930年12月26日 (創業1883年)

代表者氏名 吉川 一三

資本金 95億5千4百万円

従業員数 連結1,976名 単独396名 (2008年5月末現在)

上場市場名 東京 (1部) 大阪 (1部)

東証業種名 繊維製品

ISO取得状況

ISO14001 奈良事業所、大阪事業所、滋賀事業所

ISO9001 奈良事業所、大阪事業所

沿革

- 1883年** 大阪住吉で手織り段通の製作を始める
- 1891年 国会議事堂にカーペットを納入
- 1896年 手織りによるワナモケットの製作に成功、国鉄に採用される。
- 1913年 住江織物合資会社を設立
- 1930年** 住江織物株式会社を設立
- 1949年** 株式上場
- 1954年 国内初タフティングカーペット機を導入
- 1955年 国産軽自動車の草分け「フライング・フェザー」を製作・販売
- 1958年 自動車用カーペット、シート地の生産を始める
- 1980年** 国内初タイルカーペットの生産を奈良工場で開始
- 1998年** 消臭機能「トリプルフレッシュ®」開発 ISO9002登録
- 1999年 インテリア商品販売会社 (株)スミノエを設立
- 2003年** 米国に自動車内装材の製造販売会社を設立
中国にホットカーペット製造販売会社を設立
中国・インドネシアに自動車内装材の製造販売会社を合併で設立
- 2004年 奈良工場・床材事業部門を住江奈良株式会社として分社設立
長崎県にサイドカーテン・エアバッグの製造販売会社を合併で設立
- 2005年 中国 広州市に自動車内装材の製造販売会社を合併で設立
- 2007年 インド ALPS社と自動車内装材分野で業務提携

主な営業品目

インテリア内装材

- 床材
各種カーペット
各種ラグマット
硬質床材・ウッドフロア
フリーアクセスフロア 他
- カーテン
各種カーテン
ローマンシェード
カーテンレール・アクセサリー
- 壁紙
- 美術工芸品織物
緞帳・各種施設用諸幕
タペストリー
テーブルセンター
他、美術工芸小物

自動車・鉄道車両内装材

- 自動車内装材
カーペット
シート表皮材
天井表皮材
自動車用品（オプションマット
他）他、自動車内装材全般
- 鉄道車両内装材
シート表皮材
カーテン
カーペット
シートクッション
広告宣伝シート 他

その他

- ナッセンジャープリント
顔料プリント 遮水シート
床暖房 福祉機材
空気消臭清浄機 他

国内外の主なグループ会社

